

金星と春の天体 観望会

- 金星 光度:-4.1等 視直径:15.8秒6月4日に太陽から最も離れた角度で見える最大離角、7月10日に最も明るく見える最大光輝になります。最大光輝には、光度-4.5等、視直径38.4秒に達し、望遠鏡で見ると三日月状に大きく欠けて見えます。観望日当日は、望遠鏡で見ると半月状に見えます。
- 火星 光度:1.2等 視直径:5.8秒昨年12月1日に地球に最接近し、光度-1.9等、視直径17.2秒まで明るくなりました。望遠鏡で見ると赤い色で丸く見えます。
- アークトゥルス 光度:-0.1等 距離: 37光年うしかい座の一等星、意味は「熊の番人」、日本では「麦星」とも呼ばれています。
- スピカ 光度:1.0等 距離:250光年おとめ座の一等星、意味は「麦の穂」、日本では「真珠星」とも呼ばれてます。
- プレセペ 光度:3.1等 距離:580光年 視直径:95分かに座の散開星団、肉眼でも見える大きな星団です。意味は「飼い葉桶」、メシエ番号はM44です。
- M3 光度:6.4等 距離:34,000光年 視直径:18分りょうけん座の球状星団、何万という星がボールのように集まっている星団です。肉眼で見つけるのは難しく、小さな望遠鏡でぼやっとした塊に見え、大きな望遠鏡で細かい星に分解して見ることができます。

日時：4月20日（木）19:00～20:00

場所：自然研究科棟屋上天体観測施設

主催：春の観望会実行委員会2023

共催：理学部職員組合

参加いただける方：理学部の教職員・
学生と理学部単組組合員の家族や知人